

2021年9月28日

新本店ビルの竣工について

～12月13日（月）にグランドオープン予定～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2021年9月28日（火）、新本店ビル（さいたま市大宮区）が竣工し、12月13日（月）に本店営業部の移転およびグランドオープンを行いますので、お知らせします。なお、新本店ビルの名称は「武蔵野銀行本店ビル」といたします。

「武蔵野銀行本店ビル」は、地域の皆さまとの交流・共創の拠点として、また、生産性や働きがい向上に資する新しいワークスタイルへの改革、環境・生物多様性への一層の配慮、大規模災害に備えたレジリエンス強化などを実現していくことで、埼玉県と武蔵野銀行の持続的成長のシンボルとなることを目指しております。

本年11月以降に本部機能およびグループ会社等の順次移転を行っていく計画です。

本店営業部は12月10日（金）まで、現在の仮移転場所（鉄道博物館駅前）にて通常営業いたします。

創業地である大宮に深く根差した「武蔵野銀行本店ビル」のもと、当行はこれまで以上に、地域の皆さまに愛され、頼りにされる銀行を目指してまいります。

1. 基本コンセプト

(1) 武蔵野銀行らしさの継承と埼玉の未来に向けたデザイン

- ・建物の外観（ファサード）は、旧本店を彷彿とさせる煉瓦調の重厚で落ち着いた外壁、大宮西口のスカイラインとも調和した水平の二重庇による彫りの深い表情で、伝統と未来の出会いを表現します。

(2) 地域の皆さまとの交流・共創

- ・東日本の玄関口である大宮駅と空中歩廊（ペDESTリアンデッキ）で直結し、地域との一体感を醸成します。空中歩廊から直接ご来店いただける2階の地域創生スペースでは、多様なテーマのセミナー・シンポジウムを開催していくとともに、マルチディスプレイ等で地元埼玉の魅力を発信してまいります。また、スマートフォンアプリなどのDX体験や、地元スポーツチーム応援ができるエリアも常設いたします。このほか、コワーキングスペースやカフェを設け、地域の皆さまとの交流・共創の場を目指します。
- ・1階の本店営業部は、明るく開放感あるロビーや、落ち着きある相談スペースを備え、皆さまをお迎えします。
- ・株主総会や大規模セミナー、コンサートが開催可能な大会議室の内装には、「西川材」「細川紙」が使用され、地元埼玉の伝統・歴史を感じることができます。

(3) ワークスタイルの改革

- ・執務フロアは、間仕切りなしのオープンスペースとするとともに、3つの階を行き来できる内部階段を設置し、縦横のアクティビティによるコミュニケーション活性化と創造性の一層の発揮を目指します。

次頁へ

- ・全従業員にタブレット端末とスマートフォンを配付し、フリーアドレスでの業務を可能とします。また、各人の業務特性や仕事のしやすさに応じ、一時的に集中して作業ができるブースや、ミーティングスペースを多数設けています。
- ・このほか、3つの執務フロアそれぞれに、健康増進（ウェルネス）、知識収集・自己研鑽（ライブラリ）、リフレッシュといった目的別のエリアを設けています。

（４）サステナビリティへの貢献

- ・外構には、「武蔵野」在来の樹木や秩父の自然石など地元産のものを使用し、地産地消に貢献することで、地域との一体感を高めています。
- ・また、植栽は地域の生態系に配慮したものとしており、生物多様性を高める事業を評価する認証制度「JHEP（ジェイヘップ）」認証を、金融機関の本店として初めて取得します。
- ・1階の本店営業部の相談スペースも「武蔵野の森」をモチーフに、木質素材やフェイクグリーンを使用しており、屋外の植栽と連続し調和がとれたものになっています。
- ・特徴的な二重庇は、窓から入る直射光を遮り、その熱負荷を約6割低減するなど、省エネルギーに寄与します。また、照明・空調・排水等を適切にコントロールする設備を備え、屋上に太陽光発電パネルを設置するなど、建築環境総合性評価システム「CASBEE」Aランク相当の機能性を有しています。

（５）レジリエンスの強化

- ・敷地や立地に応じた中間免震構造を採用するなど、大規模災害時でも、建物の主要機能が確保できるよう、高水準の耐震グレード（Sランク）となっています。
- ・災害時の対策本部となる専用室（平時は会議室として使用）を設けているほか、業務継続のための非常用発電機（最長72時間）を設置しています。
- ・大宮駅から至近にある立地を活かし、大規模災害時には、帰宅困難者の受入れが可能な空間を確保しています。（帰宅困難者受入についてさいたま市と協定を締結予定）

2. 建物概要

名称	武蔵野銀行本店ビル
所在地	さいたま市大宮区桜木町1丁目10番8
延床面積	29,940.69㎡
規模構造	地上13階、地下2階
建物用途	本部機能・本店営業部・研修施設等
設計	株式会社日建設計
施工	大林組・ユーディケー・伊田テクノス・住協建設・田中工務店・千代本興業建設共同企業体

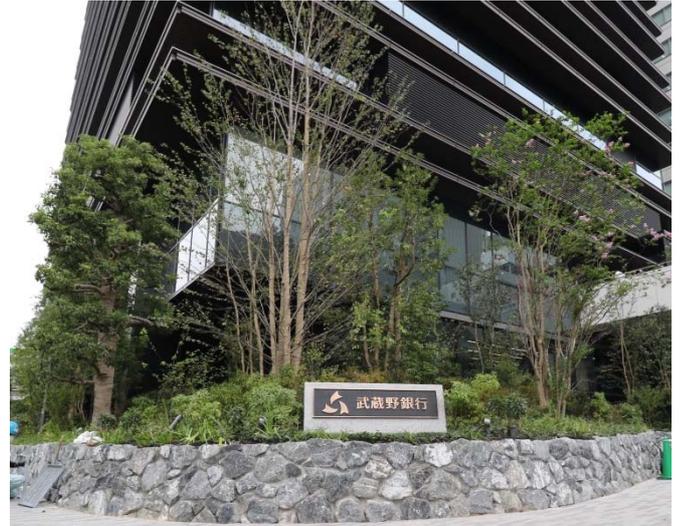
以上

報道機関からのお問い合わせ先
 総合企画部 高倉 啓・関谷 武・大門 剛・新澤 寛
 TEL 048-641-6111（代）

【外観】



【ランドスケープ】



【本店営業部】



【地域創生スペース】



【大会議室】



【執務フロア】

